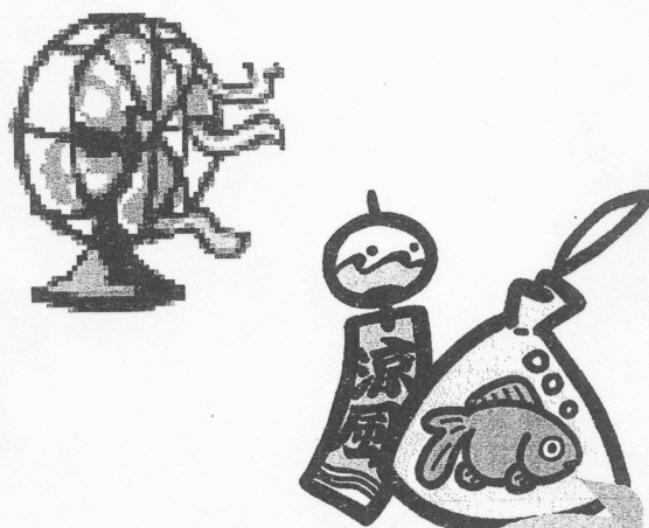


～人と人をつなぐ情報機関紙～

人づくりネットワーク

メリーゴーランド



暑いので、涼しくなる絵を取り入れてみました。
絵を見て少しは涼しくなったかな？

おかげさまで通信も今回で30号になりました。

2011
SUMMER
V o l.

30

☆ 今回のつたえたい

ひきこもりを体験して、今

～今年度企画事業報告レポート～

去る6月5日日曜日、豊橋市民センターカリオンビル5階大会議室にて、「ひきこもりを体験して、今」というタイトルで今年度の企画事業として開催されました。

5周年記念の「不登校を考えるシンポジウム」から毎年当事者の生の体験談を一般市民に伝える企画事業を行っており、今回で3回目になります。

今回は、「とよはし若者サポートステーション」の協力を得て、とよはし若者サポートステーションの概要等を、所長であります伊藤和志さんにお話してもらい、その後に、若者サポートステーションを現在利用している若者2名の体験談を語っていただきました。

まず、はじめに伊藤さんによる「とよはし若者サポートステーション」について用意していただいた資料を基に説明をくださいました。とよはし若者サポートステーションの状況について、どんな方々が利用しているかなど詳しく説明してくださり、参加者は耳を傾けてお話を聴き、メモをとっていました。

4月に豊橋市牟呂町にある青少年センター1階で新たなスペースを設け、多くの方々が利用しています。

伊藤さんの話が終わった後に、現在とよはし若者サポートステーションを利用している若者男女1名ずつに自分の経験等を話してもらいました。

二人とも、最初は人前で出て話すのにやや緊張気味でしたが、自分の苦しかった経験を思いのままに参加者の皆さんに伝えていました。

素直で、真面目に生きている若者達は、今新たな目標に向かって頑張っています。お二人以外の参加者の中に、ほかに経験された当事者の話もあり、様々な若者達の生き方を知ることができました。

今回の企画事業は大変濃い内容で、参加された皆さんも「参加してよかったです」という声が多数ありました。

4ページからの参加者の皆さんのが感想など掲載しておきましたので、今回参加されなかった皆さんもこの企画事業がどんなものだったか実感できると思います。

今回、話をしていただいた方たちの感想等をいただきました。

自分のことを話してみて、最初は本当に自分の話を聴いてもらえるか心配だったけど、終わった後、参加してくれた方々からお礼を言ってもらえてすごく良かったと思います。講演会に出て、自分の話を話せて一般の方に理解してもらえて、すごく勉強になりました。(27歳 男性)

会場の皆さんが、じっくりと耳を傾けてくれていたように感じたことが嬉しかったです。

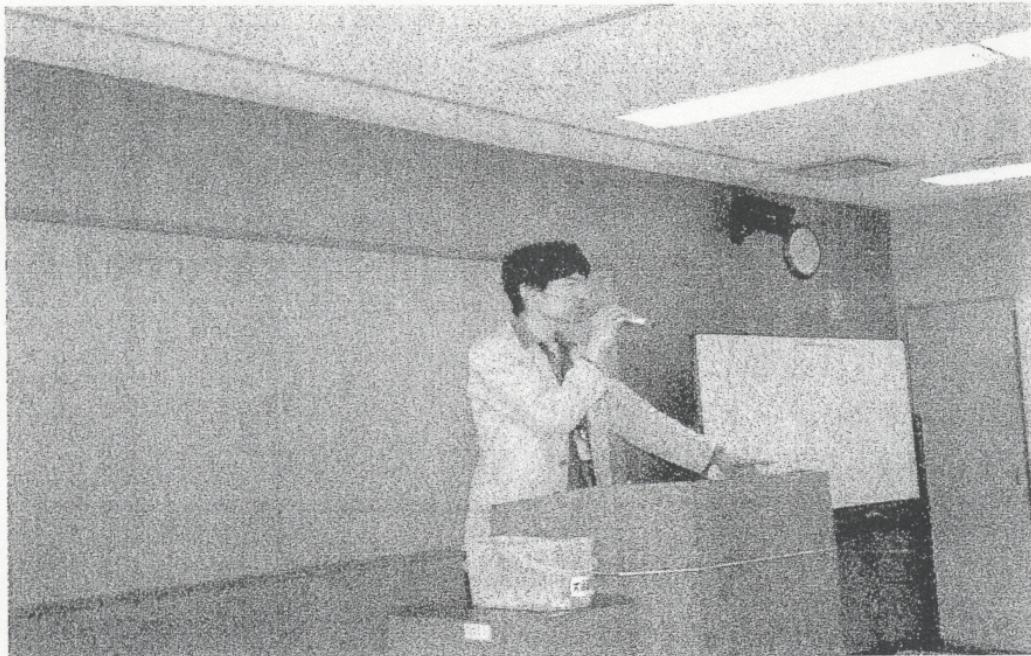
何故なら、私たち「自分自身の経験を受け止められる」当事者にしかわからぬ『本当のこと、真実』が伝わるからです。この「本当のこと」に世の中が意識を向けていくこと、これが私の願いです。

(いとうかずし)

会場の人が傾聴してくれているのが、話をしていて とても ああ ちゃんと受けとめてくれているなどわかりました。とてもうれしかったです。みんなが同じ時間をすごしていると感じました。

共感ということがしみじみと感じました。

(やまもとさおり)



とよはし若者サポートステーションの所長の伊藤さん

企画事業アンケート結果

今回の企画事業に参加した皆さんに、参加した感想などアンケートをとらせていただきました。参加者25名中20名の回答があり、集計したところ次の結果となりましたので、ご覧ください。

1. 今回の企画事業「ひきこもりを体験して、今」は、どこでお知りになりましたか。

- ・ メリーゴーランド通信29号のお知らせで・・・3名
- ・ 宣伝チラシを見て・・・2名
- ・ 新聞記事を見て（中日新聞、朝日新聞、東日新聞で企画事業開催のお知らせを掲載しました）・・・3名
- ・ 人から聞いて・・・6名
- ・ その他（協力したとよはし若者サポートステーションから知った等）・・・6名

2. 失礼ですが、あなたはどのような立場で参加しましたか。（複数回答有）

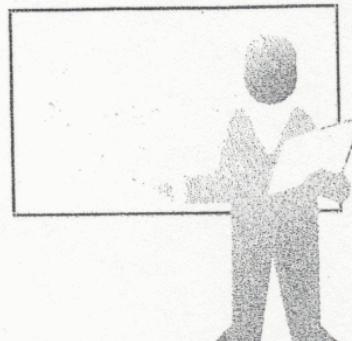
- ・ 当事者、経験者・・・3名
- ・ 親、保護者・・・6名
- ・ 支援者・・・6名
- ・ 学生・・・1名
- ・ その他・・・6名

今回の企画事業では、様々な立場の方が参加してくれました。

3. 「とよはし若者サポートステーション」の伊藤さんの話を聴いて若者サポートステーションのことが理解できましたか。

- ・ 理解できた・・・11名
- ・ 大体は理解できた・・・9名

アンケートに回答した方全員が話を聴いて理解できたと答えていました。



4. ひきこもりの体験談を語った若者達の話はどうでしたか。（自由回答）

- ・ まだ、皆さん若い方なので、長い人生の中では貴重な体験かもしれませんね。
- ・ 今の生活に“笑顔”素晴らしいです。
- ・ 落ち着いてきちんと気持ちが伝わってよかったです。
- ・ 自分の気持ちを正直にみんなの前で伝えられることはとても素晴らしいことだと思いました。
- ・ 参加者の意見にもあったが、YくんとSさんの話す様子を見ていると、自分の世界に引きこもっている人には全く見えない。素晴らしい対応だったと思う。
- ・ 2人の会話を聞いて色々なことがあり大変だった事がよく分かった。でも今は、毎日が生活するためにも楽しいでしょうね。これからも頑張って下さい。
- ・ 体験者のお話や、応答が出来る事が素晴らしいと思った。過去の時よりはかなり進歩しているのではと、思います。
- ・ 素敵な話が聴けてよかったです。
- ・ とよはし若者サポートステーションに来て本当に良かったと Yくん Sさんの言葉に感動しました。先生達が本人の気持ちをよく理解して下さっていることがよく分かりました。
- ・ もっと世間や社会からの理解とサポートが進んでこういった人が減る社会を目指していきたいです。
- ・ なかなか当人の方の話を聞くチャンスがなかったので、生の声が聴けてよかったです。苦しかったときを経験したからこそ、微笑も、声も感動でした。
- ・ お二人が明るかったので、私の話を聴いていただいてありがとうございました。
- ・ 勇気に拍手。生身の体験談は心を動かしますね。
- ・ 親の考えている事と、実際に、不登校・ひきこもりを体験されている方の考え方の違いがあり、すごく苦しんでいたんだという事が分かりました。
- ・ 「今、自分はどうすればよいのか?」「充電したい」「将来働きたい」「困っている人に役に立ちたい」「お父さん・お母さんは自分のことを分かっていない、分かってきている」親子関係がキーワードでしょうか?



5. 参加して感じたこと、気付いたことなどがあればご記入ください。

- ・ 体験した人の笑顔が印象的でした。（同様意見2名）
- ・ 今後もこのような企画があれば参加したいと思います。
- ・ 子供達が不登校していた頃につきつけられていたことを再度思い出し再確認しました。
- ・ 親子関係について考えされました。
- ・ またサポートセンターの方たちの体験談を聴きたいと思っています。
- ・ 子供達が心の居場所を求めている事、本当の安心感を求めている事を感じました。
- ・ 誰もが皆自分なりに精一杯努力して生きているし、知的障害者やその他の発達障害者や、どんな出来の悪い最低の人もそうなので、それが理解される社会になれば良いですね。
- ・ 苦しい、辛い体験をいろんな方からお聞きすることができて貴重な一日になりました。
- ・ これから的人生を頑張っていきたいと思いました。
- ・ 最後の質問で参加者の本音が聞けた。
- ・ 初めての参加ですが、中味の濃い会であったと思います。
- ・ 子どもに対して、子どものために接し方を変えていこうと思います。
- ・ 自分探しをしている若者と、子どもの幸せを願う親子さんは頑張っているので、もっともっと社会の支援が広がるべきだと思います。私も支援者の一員になれたらと思っています。

最後に、世話人から企画事業のことについて

今回の企画事業では、「とよはし若者サポートステーション」の大いなる協力で、素晴らしい企画事業になったと思います。参加者の皆さんも、印象に残る企画事業になったことでしょう。今回参加できなかった皆さんも、次回の企画事業に是非参加してくださいね。

今回の企画事業にご参加、ご協力いただいた皆さん、本当にありがとうございました。



☆イベント情報 「第4回 ゆいフィールコンサート」

「悠久の生命と愛」をテーマにチャレンジドミュージシャンとミュージシャンがジョイント！

第4回は、日本の命の源流、悠久の生命をたどる島歌など沖縄メロディにのせて、想いをはるか古に遊びます☆

【日 時】2011年8月20日(土) 13:30 開場 14:00 開演

【会 場】豊橋市民文化会館 大ホール（豊橋市向山大池町20-1）

【アクセス】豊橋駅より豊鉄バス4番乗車向山台町又は文化会館前下車徒歩1~2分

【参加費】1,000円※今回の参加費の一部実費を除くすべてを東日本大震災への義援金として使用させて頂きます。

私たちの前に突然やってきた自然の猛威大震災と大津波すべての価値観をひっくり返した3月11日。そして、福島原発の事故。化学万能の時代の果てに、人々の生活を根こそぎ変えてしまう放射能。代償が大きければ大きいほど、私たちは団結し、一人一人つながりたすけあい、古く日本人が信じた自然とともに生きる。太陽、空、海、大地に拓ける悠久の時、人が人を信じて、おおらかに明るく笑顔で生きた時代。だから今、苦難の時代をものともせず明るく生きたうちなんちゅうのこころの詩を訪ねてみたい。私たちは一人では生きて行けない。共に支えあい、たすけあい、生命への感謝の気持ちをもって生きていきたい。短いプログラムの中に、私たちは、テーマ「悠久の生命と愛」を通して、一つになればと思います。

第1部 沖縄からのメッセージ

【出演者】風琉、ザ・シンキンズ、寺島祥史、山口理恵、WAC合唱団

【曲 目】涙そうそう、さとうきび畑、島歌、花、島人ぬ宝、ヒヤミチカ節

ハイサイおじさん、安里屋ユンタ、西部門節、芭蕉布、十九の春

ていんさぐぬ花、花、風になりたい、ひとつぶの涙 等



第2部 なんくるないさー ソングフォーユー

【出演者】ヤンバル、稲田貴久

【曲 目】サーティアンダギー、僕はサカナ、ヤンバルンバ・ガンバルンバ、Smile

うつむいて、ひかる、かいがら

情報をお寄せください

この通信は、4・7・10・1月に発行します。伝えたい体験談や、団体・グループなどの活動紹介、イベント開催のお知らせ等がありましたら、世話人まで連絡ください。

ご支援・ご協力をお願いします

この通信作成および活動は皆様方の寄付によって賄われております。年間一口500円以上の活動協力費を直接世話人に渡すかもしくは下記の郵便振込口座に入金してください。また未使用切手500円以上相当分、リサイクルバザーに出品する物品等も受け付けております。

通信一部売りは100円の活動協力費になりますのでよろしくお願いします。

編集後記

今年は6月のはじめは気温の低い日が続いていて、「寒い、寒い」言われていたのですが、6月末には連日の猛暑日が続いて、かなりの気温の差に身体がついていけない状態です。今年の夏は、東日本大震災の影響で電力不足になりそうで、暑いときは厳しい状況になりそうです。昨年の夏から始めた学童保育の仕事も、2回目の夏休みを迎えてフル出勤もあって忙しい夏を迎えます。この夏も暑くなりそうなので、体調管理をしっかり整えて仕事に臨んでいきたいと思います。皆さんも熱中症・夏ばてにならないよう、身体に気をつけてこの夏を過ごしてくださいね。（永井和子）

「人と人とをつなぐ情報機関紙 人づくりネットワーク メリーゴーランド」
通巻第30号（年4回発行）
発行■人づくりネットワーク メリーゴーランド
世話人■永井 和子 連絡先■090-1724-6948
Eメール■kazun-1976@tees.jp

☆ 活動協力費の郵便振込先

郵便振替口座 00880-0-95714

加入者名 「人づくりネットワーク メリーゴーランド」
(お一人様何口でも構いません。あなたの気持ち次第です)